

# 全農育成スプレーギク品種の挿し穂供給

平成21年度は6品種を販売予定

スプレーギクは、1茎多花の小・中輪タイプのキクである。花色や花型が豊富で、用途が多岐にわたるため需要も多く、国内生産量を順調に伸ばしてきた。営農・技術センター農産物商品開発室では、スプレーギク産地の経営を支援することを目的に、平成3年からスプレーギクの品種開発に取り組んでいる。開発品種は、JAグループオリジナル品種の施設栽培を行っている産地を中心に利用されており、現在60品種ほどが生産・出荷されている。

ここでは、キリンアグリバイオ㈱を通じた挿し穂供給が可能な品種を紹介する。

## 挿し穂供給の背景と平成21年度の販売予定

スプレーギクは、栄養繁殖性であり、挿し穂から切り花を生産するが、一般的には生産者が親株専用温室で挿し穂を自家増殖し、切り花収穫用に利用している。しかし、自家増殖するよりも海外で生産された安価な挿し穂を利用したほうが生産コストを抑えられること、親株専用温室を切り花生産用温室に切り替えると生産量の増加につながることから、定植用挿し穂供給へのニーズが高まっている。

そこで、生産者の要望に応えるため、全農の夏季生産用品種の一部については、キリンアグリバイオ㈱と提携して、海外で生産した挿し穂の供給を行っている。平成21年度は次の6品種の販売を予定している。

## 平成21年度販売予定品種(平成21年3月～6月供給予定)

### イエロー

**オルカ**：草丈がよく伸び、輪数が多い。早生。

### ピンク

**ルグラン**：淡いピンク色で夏場には涼しいイメージの花。早生。

**エマ**：濃いピンク色で夏の高温期でも色あせしにくい中生。

**ミルモ**：大輪で淡いピンク色の花が特徴の品種。中生。

### ホホワイト

**タバサ**：純白・緑芯が美しい品種。やや晩生。

**フラム**：高温でも開花遅延しない。早生。



オルカ



ルグラン



エマ



ミルモ



タバサ



フラム

### <お問い合わせ先>

全農 営農・技術センター 農産物商品開発室

1 0463 - 22 - 1024

注意：挿し穂の購入については、あらかじめ全農との基本契約およびキリンアグリバイオ㈱との販売契約が必要となります。

【全農 営農・技術センター 農産物商品開発室・椎名宏太】